

パソコン・いわくら教室新聞

今年は災害、大事故が相次いだんじゃない年明けでした。能登方面はまだまだ手つかずなところも多く、報道を見るたびに心が痛みます。災害への備えは大事です。

現状を確認しよう

災害が起きてから「あたふた…」ではなく、どのみち慌てるのは目に見えていますが、少しでも現状がわかつていると、少しはその後の行動にも活けるのではないかでしょうか。

まず、国や自治体が作成している「ハザードマップ」を確認しておきましょう。住んでいるところが災害の種類でどのような注意が必要かがわかります。

国土交通省が作る「ハザードマップポータルサイト (<https://disaportal.gsi.go.jp/>)」では、災害によってどのような被害が予想されるのかが色分けで地図上に表示されるようになっています。「洪水」「土砂災害」「津波」「高潮」など災害を選択して表示ができます。また、避難所の場所も確認することができます。（地図は鴨川水系での洪水状況です）

災害が起きてから慌てないよう、予めご自分の地区の地図を印刷しておくとよいでしょう。また、各自治体作成の情報ともリンクしており、様々な情報を参照することができます。



トヨタ車向けの通信サービスから得た情報で作成された道路が青く表示されるようになっています。その他通行止めの情報など様々表示されています。

トヨタ車向けの通信サービスから得た情報で作成された道路が青く表示されるようになっています。その他通行止めの情報など様々表示されています。

その他用意しておきたいもの

現状がどうなっているのかは、とても気になります。テレビ、ラジオ、インターネット、新聞…。テレビ、新聞はさておき、ラジオやスマホなどは電源が確保できればなんとかなりそうです。のためにモバイルバッテリーをぜひ常備しておきましょう。常に充電がされていることが望ましいでしょう。バッテリーはモバイルの他、容量の大きいポータブル電源もあります。容量が大きい分、重くなりますし値段も高額になります。ただ、冷蔵庫など家電を動かすのにも使えます。

バッテリーがあつても、使い切ってしまえば充電が必要になります。が、災害時は停電しているたり、使えても場所が限られていたりと、ままならなかつたりします。そこで活躍するのが、ソーラーパネルです。太陽が出ていれば発電が可能ですので電源が確保できます。その他にも焚き火を燃やして発電するものや、塩とマグネシウムの化学反応で発電するものなど、様々な製品があります。ぜひ合わせて備えておきたいものです。

ちなみに、バッテリーの容量が6000Whのものでは、消費電力60Wの電気製品が10時間使える計算になります。（賢く計算しましょう）

起こらないことも祈りつつ、最低限備えておきたいものです。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

他通行止めの情報など様々表示されています。

<https://pc-iwakura.com/>

